

# 紀州犬サミット

「紀州犬発祥の地・御浜町阪本地区」で、紀州犬の資質を見直し、猟性能から保存されてきた良性、素朴な紀州犬の保存に努め、資質の向上を図るため紀州犬サミットが開催されます。“本物の天然記念物紀州犬に会いに来ませんか？”

天然記念物紀州犬登録候補犬審査会、日本犬観賞会

会場 : 御浜町阪本・阪本コミュニティセンター  
 時間 : 9:30 開会式  
 10:00 審査会、日本犬観賞会 表彰式  
 12:00 研修会  
 猪汁のふるまい(200食限定, 11:40~12:30)  
 13:30 「甲斐崎 圭」氏のお話  
 14:30 創作太鼓「紀宝楽」歓迎の太鼓、餅まき

紀州犬と歩く 阪本・熊野古道ウォーク

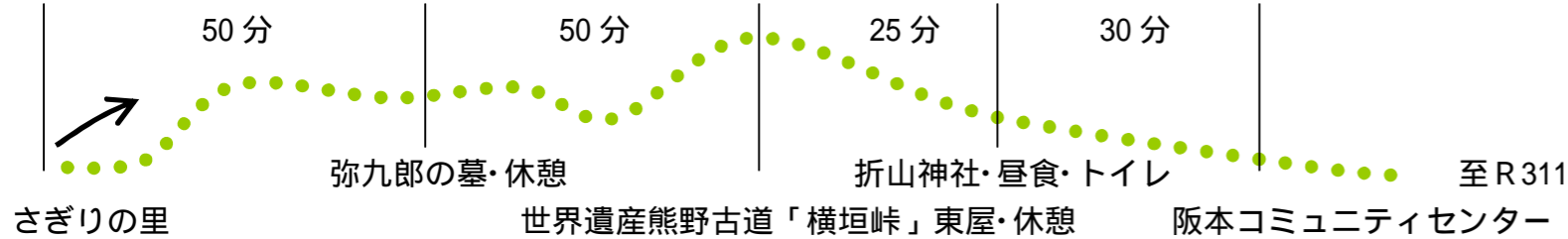
時間 : 8:20 「パーク七里御浜」集合  
 9:10 「さぎりの里」ウォーク出発  
 弥九郎の墓参~熊野古道「横垣峠」~折山神社(昼休憩・猪汁のふるまい(ウォーク参加者限定~12:30))~阪本コミュニティセンター  
 13:30 「甲斐崎 圭」氏のお話  
 14:30 創作太鼓「紀宝楽」歓迎の太鼓、餅まき  
 16:00 道の駅「パーク七里御浜」解散

お問い合わせ : 御浜町役場産業建設課  
 電話 : 05979 - 3 - 0517

## 紀州犬物語 (弥九郎の犬)

江戸時代、紀の国は阪本村に弥九郎という鉄ぼう撃ちの名人がいました。  
 ある日の夜、弥九郎が山道を歩いているとどに骨がひっかかり苦しんでいる一匹のオオカミがうずくまっていた。弥九郎は骨をぬいてオオカミを助けると「もしよければ、おまえの子供を一匹おれにくれんか。」といて、オオカミを放してあげました。それからしばらくして弥九郎の家の前に一匹の子犬がおいてありました。弥九郎は、これはあのオオカミの子にちがいないと思い「マン」という名をつけて大事に育てました。  
 ある年、新宮のお殿様が狩りをした時、一頭の手追いのイノシシが殿様めがけて突進して来ました。  
 それを見たマンはイノシシにおそいかかりみごとにたおしてしまいました。  
 こうしてマンは、このあたりでは知らない人がないほど有名になりました。  
 この弥九郎の犬が、後の紀州犬の先祖だということで、紀州犬はオオカミの血をひいているといわれています。  
 マンの主、弥九郎は実在した人で阪本の岩洞院というお寺にお墓が残されています。

## 紀州犬と歩く 阪本・熊野古道ウォーク



## 紀州犬の故郷

御浜町阪本地区がその発祥とされる紀州犬。三重県の天然記念物にも指定されており、勇猛果敢な気性であることから古来より猟犬として親しまれています。



△ 高チラ山

△ 鷲ノ巣山



神木流紋岩の石畳

雨の後などとても滑りやすいので注意してください。

△ 西の峰山



峠道を下りて少し歩くと、亀島と呼ばれている自然石の上に石灯籠が見えます。石灯籠の高さは2メートル54センチ、銘文は「文化十酉吉日」(1813年)とあります。妙見山の遥拝所と言われています。

# 熊野古道 横垣峠

美しい棚田の里・阪本  
 ~ 紀州犬の故郷 ~

## 横垣峠

熊野本宮大社に詣でる旅人は、花の窟(いわや)で浜街道と別れ、いくつもの峠を越えて行く本宮道へ進みました。その最初の峠が、神木(ここのぎ)からなだらかな斜面に棚田が並び、美しい阪本の里へと抜ける横垣峠です。古道の残る区間は短いです。神木流紋岩の美しい石畳が残る古道です。阪本には多くの石仏などがあり、紀州犬のふるさと「峰弥九郎伝説の地」でもあります。